

すくらっふ あんど びるど？

先日は阪神淡路大震災から丸15年ということで、テレビや新聞でも震災の話題が積極的に報道され、また、被災地では地震発生の時刻にあわせて追悼行事も行われたようです。

この頃は、日本のあちこちで歯科医師過剰が叫ばれていますが、
歯科医師過剰について、あるところで聞いた話を、ふと思い出しました。
これは震災とは全く関係の無い話なのですが、とある歯科医師過剰地域でのことです。
その地域で開業している歯科医師に教えてもらった話。
まず、新患が来ると、患者の口腔内全ての補綴物を隈なくチェックし、
自分が入れた補綴物以外のものを見つけると、それらを「何らかの問題あり」と定義づけ、
仮に患者の訴えや臨床上、問題がないものであったとしても「信頼できないから」
ということを理由にそれら全てを除去し、また、新たに補綴物を作成するのだそう。
まあ、これはあくまで噂話の類だとは思いますが、それにしても・・・

もはや「スクラップ&ビルド」ではなく「スクラップFORビルド」の世界だったようです。

・・・何だか悲しい話ですね。

歯科医療の患者コンサルティングについて話を聞いてみても、
その多くが「どのようにして、フルマウスの歯科医療に誘導したか」
というような話ばかり。



患者の年収と同じくらいの歯科医療をコンサルティングして、
それが患者にも理解してもらえたと自慢げに話しているのが 私の教え子・・・
まあ、面と向かって非難はしませんが、悲しいです。
年収300万から400万の人に、300万ほどの歯科医療、その価値を理解してもらえたと言われても、私にはその価値はどうか？？？ 理解が出来ません。
心理学を勉強して、患者コンサルティングを行なうようですが、
それって、ドウなの？ それって、もしかして？
ま、せいぜい詐欺まがいの話にならないように願うばかりです。

歯科医療は生活の医療、その人の生活（収入）によって、求める状態も変わるでしょうが
私自身、フルマウスのすばらしい補綴のオンパレードに気持ちが進んでいかないのは
いったいなぜなのでしょうかね。

やはりインプラントも入れたフルブリッジを作るより、保険の義歯を選択しているから、
いつまでも時流に取り残された「古い」歯科医院なのではないでしょうか。

2010/01/29
Written by グス

